



タイヤストッパー・サーキュレーションプロジェクト 原馬化成株式会社



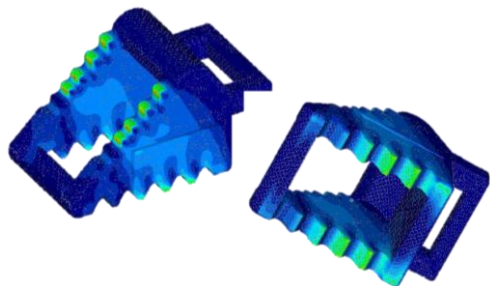
企業概要・プロジェクト概要

原馬化成株式会社は、プラスチック射出成形加工および二次加工を手がけるメーカーです。自動車部品やオフィス家具部品など、暮らしと産業を支える幅広い分野で高品質な樹脂製品を提供しています。長年培った成形技術を基盤に、環境負荷の低減や素材の循環利用に積極的に取り組み、持続可能な製造業のあり方を追求しています「タイヤストッパー・サーキュレーションプロジェクト」は、製造工程で発生する廃材を再利用し、新たなタイヤストッパーとして再生する循環型ものづくりの取り組みです。



取組効果（経済面・環境面）

製造工程で発生する廃棄プラスチックの量を削減することにつながっている。
再生素材を積極的に活用することで、資源の有効利用と環境負荷の低減を実現。
プロジェクトはまだ販売開始前の段階だが、社内では環境意識の高まりが見られ、社員一人ひとりが「循環型ものづくり」に対する理解と誇りを持つようになってきている。
今後は製品の市場投入を通じて、環境価値と経済価値の両立を目指していく。



何をRethinkしたか ～モノの使い方や捉え方を見直したポイントやアイデア～

廃材を“捨てるもの”ではなく、“再び価値を生む素材”として捉え直した。
製造現場から発生するプラスチック廃材を再利用し、新たな製品として再生させる循環の仕組みを構築。

どのようにDesignしたか ～ポイントやアイデアをどうカタチにしたか～

製造工程で発生する廃材を粉碎し、再び原料として再成形。
廃材を新たな製品づくりの素材として再利用することで、廃棄物の削減と資源の循環利用を両立させた。
また、CAE解析を活用して、強度を確保しながら軽量化を実現する設計を行い、再生素材でも十分な性能と耐久性を発揮できる構造を追求。
使用後のタイヤストッパーも回収し、粉碎・再成形することで、“作って・使って・また作る”という循環の仕組みを実現している。

プロジェクト関係者・役割



企業名：原馬化成(株)

役割：設計・企画・製造



企業名：(株)ベゼル

役割：販売



企業名：司運輸(株)

役割：回収

企業名：近江物産(株)

役割：再資源化



プロジェクトに込めた思い

プラスチックと共に！

所属：原馬化成株式会社
役職：営業部課長
氏名：長尾健次

プロジェクト担当者：長尾健次